

精神障がい

○特徴

- ・精神疾患は脳の働きが不調になる病気です。目に見えずわかりにくいですが、一生のうちに5人に1人がかかるとも言われており、実はとても身近な病気です。
- ・環境の変化や人づきあいに不安を感じやすい方が多く、生活のしづらさを抱えています。
- ・次のような症状がみられますが、疾患や経過によって一人ひとり違います。
例：不眠、疲れやすい、意欲が出ない、注意・集中力の低下、考えがまとまりにくい、誰もいないのに声が聞こえる（幻聴）、気分がむらがある、現実ではありえないことを実際に起こっていると思ってしまうなど。
- ・薬を飲み続けることで、多くの方の症状が安定します。



○お願いしたいこと

- ・あいさつなど何気ない会話を大切に、あたたかく接してください。
- ・周囲の人には現実ではないように思えることも、頭ごなしに否定しないでください。
- ・薬を飲んでいる方が多いので、普段服用している薬がなくなって困らないように支援してください。

高次脳機能障がい

○特徴

- ・病気や事故で脳が損傷し、集中できない、忘れやすい、考えて判断することが難しくなります。
- ・身体障がいをあわせ持つ方もいますが、見た目だけでは障がいがわからない人もいます。



○お願いしたいこと

- ・伝えたいことをメモに書く、絵や図を用い1つずつ順番に具体的な指示を出してください。
- ・集中できるよう刺激の少ない場所で対応してください。
- ・混乱した時は静かで落ち着ける環境で休憩を促してください。

発達障がい

○特徴

- ・周りの状況や、あいまいな表現がわかりにくく、突発的な出来事や予定の変更などが苦手な方が多い障がいです。
- ・大きな音が苦手な方もいます。
- ・マイペース、相手の立場や気持ちがわからない方もいます。
- ・得意なことと苦手なことの差が大きいです。
- ・じっとしているのが苦手な方や集中しづらい方もいます。



○お願いしたいこと

- ・「事前に」「具体的に」「簡潔に」説明してください。
- ・静かな環境を用意してください。



西区 サポートマニュアル

このサポートマニュアルは、地域に住む障がいのある方々の、日常生活や災害時のサポートに役立てていただくために作成したものです。

各障がいに分けて障がい種別ごとに記載しています。しかし、各障がいにも個人差があり、比較的顕著な部分のみの記載となっていることをご了承ください。

災害時をお願いしたいこと

- ・避難のとき、困っている人を見かけたら誘って一緒に逃げてください。
- ・行政、自治会、消防団などへ障がい者がいることを伝えて支援をお願いしてください。
- ・説明はゆっくり、短く、穏やかに。
- ・薬を飲んでいる方が多いので、普段服用している薬がなくなって困らないように支援してください。
- ・困っている方には、まず「どうされましたか?」「何かお手伝いできることはありますか?」と聞いてください。話したくなさそうなときは、無理に話す必要はありません。
- ・刺激の少ない安心できる環境づくりをお願いします。
(大きな音や人の視線から離れられるスペースなど)



発行：KOBE WEST NET（西区自立支援協議会）

西区保健福祉部健康福祉課

※ KOBE WEST NET（西区自立支援協議会）とは、西区の社会資源団体が中心となり連携をとりながら、情報の共有、意見交換、課題解決を図ることを通じて、「障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくり」を目指し活動を続けている障害者総合支援法第89条の3に規定された団体です。

【お問合せ】

にし障害者地域生活支援センター TEL. 078-996-9820 FAX. 078-996-9821
たまつあけぼの障害者地域生活支援センター TEL. 078-927-4171 FAX. 078-927-4172
西区保健福祉部健康福祉課あんしんすこやか係 TEL. 078-929-0001 (代) FAX. 078-929-1690



神戸市広報印刷物登録 平成27年度 第719号（広報印刷物規格B-1類）
平成28年3月発行